



箭山会福岡支部

支部長 市丸 幸子

事務局：〒811-1346
福岡市南区老司3-48-6 渡辺宅
TEL 092-566-4713

編集責任者 城戸崎 重夫



八面山



福岡支部長
市丸幸子(38回生)

■ 第41回福岡支部総会開く

去る平成20年5月17日(土)第41回福岡支部総会をソラリア西鉄ホテルにおいて、母校・本部・北九州支部・会員の皆様のご出席をいただき、賑やかに総会が開催されました。福岡支部情報誌「ベストフレンズ」の発行も早いもので8号を迎えました。多方面からの寄稿をいただきありがとうございました。

この一年の福岡支部の活動は別表のとおりです。皆様のご協力の許、各活動が無事に終えることが出来ました。厚く感謝申し上げます。

21年度は箭山会・如水会の同窓会の合併がスタートいたします。これを期に変革と前進の時と受止め、さらなる躍進が期待されます。今後も会員の皆様のご協力をいただき活動を後退させることなく後輩に引き継げるよう願っています。



■ 箭山会福岡支部の平成20年度の活動状況

行事など	場所	参加者など
20/4/18 第17回福岡北九州支部ゴルフ会	若宮CC・2-L若宮	18名
5/17 第41回箭山会福岡支部総会	ソラリア西鉄ホテル	55名
5/10 関東支部総会	日立金属高輪産館	
6/7 星窓会定時制創立60周年	マリールカパル中津	福岡から1名
9/20 北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡から7名
10/18 関西支部総会	ハートンホテル心齋橋	
10/25 母校訪問の旅	中津割烹嘉乃	本部からも含め21名
11/15 箭山会本部総会 本部・支部役員合同会議	グランプラザホテル中津	福岡から8名
11/21 第18回福岡北九州支部ゴルフ会	福岡国際CC・神湊功侅	13名
21/1/31 沖代会・福岡支部役員会懇親会	アーク博多ロイヤル	22名

■ 本部・各支部役員

本部支部名	会長・支部長	所在地	事務局長
箭山会本部	松永勇治 (46回生)	中津市	舛川貞夫 (46回生)
関東支部	花水正平 (39回生)	横浜市	宿利敏夫 (36回生)
関西支部	小倉利幸 (44回生)	大阪市	森重 武 (39回生)
北九州支部	矢頭 誠 (38回生)	北九州市	瀬口 巖 (37回生)
星窓会	山本幸夫 (39回生)	中津市	宮瀬敬幸 (52回生)



2008/11/15
箭山会本部・支部
合同会議の面々



■ 役員会

20/5/12	6/29	10/12	12/5	21/1/31
ソラリア 西鉄ホテル 14名 総会準備	御膳屋 16名 20年度活動	御膳屋 6名 旅行会打合せ	ふく元 9名 BF8号編集会議	アークホテル 博多ロイヤル 22名 沖代会新年会ほか

第11回北九州支部総会開く



去る9月20日(土)北九州支部総会が61名の参加者の許このみ倶楽部で開かれました。

「18歳の花を咲かせよう」と銘打って、恒例の小倉祇園太鼓に



よるオープニング、われ先に門司港バナナの叩売りやカラオケ大会、ビンゴゲームに盛り上がりました。福岡から7名の役員が出席しました

星窓会定時制創立60周年総会開く

瀧上憲司 (41回生)

去る6月7日、星窓会定時制創立60周年の記念行事が「マリエール・オークパイン中津」で開かれました。福岡支部代表として参加させていただき光栄の至りです。総勢110名の賑やかな記念同窓会でした。懇親会の席では、恩師合林三範先生のご挨拶をいただき「自分より年上の生徒を相手に教壇に立った若い頃のエピソードや、生徒と先生が逆転して授業をした」ことなどをユーモアを交えてお話くださいました。

また、記念講話では旧東高時代の同窓でもある写真家の大倉靖生氏から「芸は身を助ける」と題して、失敗談を含めた人生訓の講話があり大変為になりました。祝吟・同窓生のお孫さんの

踊・のど自慢・ビンゴゲームと盛り上げたところで、校歌「西の峰峰」・「暁なびく」を高らかに唄い、名残を惜しみながら散会しました。最後になりますが創立60周年式典に至るまでに山本幸夫会長様はじめ諸先生方並びに各関係者の皆様の情熱とご努力の賜と感謝申し上げます



協賛広告ありがとうございます

箭山会 同窓会でお待ちしています

福岡支部長 市丸 幸子 (38回生)
福岡香椎浜 電話: 092-671-2775

箭山会 福岡支部

新支部長 大木 敦夫 (43回生)
福岡城南区 電話: 092-861-5053

箭山会本部総会開く

会長 松永 勇治 (46回生)



箭山会福岡支部の日頃よりのご活躍に感謝し「ベストフレンド」第8号の発行、誠におめでとうございます。

■ **平成20年の本部総会・懇親会**が、11月15日(土)、グランプラザ中津ホテルにおいて各支部役員、母校関係者、恩師10名並びに如水会役員5名のご臨席を賜り250余名の参加者で盛大に開催されました。今年は52回生(昭和45年卒)が当番で、若本泰弘実行委員長を中心に28名と本部役員が一丸となり、総会・懇親会、イベントを行いました。今回の特長は、懐かしい恩師の招待と、在校生による母校風景と中商物語(ストーリー)等の紹介、今までになかった在校生との繋がりができ、懇親会々場が大いに盛り上がり感動していました。その様子をDVDに収録して、各支部に送付いたしましたので機会がありましたらご覧ください。



■ **本部支部合同会議**：昨年同様、総会前に本部・支部役員の合同会議で意見交換を行い、箭山会と如水会の各支部の合併が問題となり今後の課題となりました。

■ **新設校について**、校名は「中津東高校」、校章、制服、校歌も決まり、立石校長他3名の先生方は、21年3月の生徒募集と入試の準備に追われています。商業科はビジネス会計科、ビジネス情報科で、工業科は、機械科(2学級)、電気科、土木科、生産システム科の計7学級(280名)でスタートします。

■ **箭山会と如水会の合併**については、総会において承認さ

れており現在詰め段階にきています。21年3月まで合併して、早く中津東校とリンクしたいと努力しているところです。又、箭山会総会については、母校の閉校まで現状のまま開催したいと考えています。

■ **中商物語へのサポート** 在校生は残された時間を大事にして思い出を造ろうと中商物語(ストーリー)を立ち上げ、「中商物語」新聞を現在まで36号を発行、ノースFM放送に毎週出演、エコバックの販売、宇佐養護学校に車椅子を寄贈するためのリンクブル集め等、頑張っています。箭山会もPTAと共に中商物語の運営費として寄付金1口2,000円(記念品として焼酎720ml贈呈)を応援しています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(ご希望の方は母校「0979-22-0300」に連絡してください。)

■ **今年の新卒者**は、全日制(115名)定時制(13名)計128名で箭山会入会式を2月27日(金)に実施、入会記念品「卒業証書入れ」と「箭山会便り」(本部、各支部紹介紙)を配布しました。また、3学年揃った最後の卒業式が3月1日(日)にあり、本部は正副会長が出席しました。2年後の23年3月の卒業式及び閉校式、閉校式典について、卒業生は全日制80名、定時制15名の予定で、送る生徒も先生もわずかにPTAも少なく、卒業式の準備から後片付けまで卒業生自身がすることになります。本部も生徒のために何かできないかを模索しているところです。アイデアがありましたらご一報ください。また、閉校式典を箭山会であるか現在検討中です。これからの2年間は大変な時期ですが、本部役員を始め会員一緒になって頑張りますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが貴支部のますますのご発展と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げ挨拶とします。

箭山会功労者感謝状受賞

去る2008年11月15日の箭山会本部総会において、昨年に続き同窓会活動に永年功労のあった方に感謝状と記念品が贈呈されました。福岡支部からは沖代会会長の渡邊一敏様(20回生)とゴルフ会長の久恒喜成様(29回生)が受賞されました。おめでとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

感謝状のお礼 渡邊一敏(20回生)

卒業(昭和14年)以来、感謝状には縁のない私でしたが、70年ぶりに頂戴した気持ちはちょっと変な感じでした。有難く厚くお礼申し上げます。自分ながら長生きをしたものだと思います。感謝状に負けないように、これからも健康に留意



渡邊一敏(20回生)
沖代会会長



久恒喜成(29回生)
ゴルフ会会長

し頑張っ参ります。箭山会のますますのご発展をお祈り致します。

協賛広告ありがとうございます

中商ストーリーを成功させよう

箭山会長 松永 勇治 (46回生)

中津市 電話：0979-32-0712

清瀧 環境と健康を考える

代表者 瀧上 憲司 (41回生)

筑紫野二日市 電話：092-926-0070

福岡北九州合同ゴルフ会

日時	平成20年4月18日(金)	平成20年11月21日(金)
場所	若宮CC:スコレ若宮18名	福岡国際CC:神湊カレイル 13名
優勝	山本亮一 本部38回生	大木敦夫 福岡43回生
準優勝	久恒喜成 福岡28回生	山本亮一 本部38回生
3位	渡辺 隆 福岡43回生	渡辺 隆 福岡43回生

左は合同ゴルフ
会長森誠二氏
(37回生)



優勝者の挨拶 20/4/18 別府 山本亮一(38回生)

下手の横好きでゴルフを始めて十数年、38回生の仲間に誘われて北九州・福岡支部合同のゴルフコンペに参加して十年近く、同期生が次々と優勝をしていく中で、冷やかし半分に「そろそろお前さんも優勝をせにゃいかんで」と言われては見たものの、実力の伴わない私にチャンスが巡ってくるはずもない。せいぜい酒の肴にされても仕方なしと、今回もさえないスコアカードを眺めて諦めていたところに、「今回はお前が優勝だ」と言われびっくり。気持ちよく一緒にラウンドしてくれたパートナーは勿論のこと、ハンディーの幸運に恵まれた優勝であった。それでも「優勝」と言う二文字は心地よく、皆さんからも祝福されて心なごむものであった。お世話をいただいた幹事の方々に感謝申し上げ、これからも少しでも長くゴルフを続けたいものだと思つづく思った。



福岡国際CCの参加者記念写真



優勝者の挨拶 20/11/21 福岡 大木敦夫(43回生)

会場の福岡国際CCは、私がゴルフを始めた35年前に何度かプレーしたことがありましたが、久しぶりで、本当に懐かしくプレーさせてもらいました。当日は天候に恵まれ、先輩の皆様と楽しい時間を過ごさせていただきました。優勝できましたのは、参加者が少なかったこと、同伴競技者が渡辺さん城戸崎さんで大変恵まれたことが大きかったと思います。懇親会では諸先輩の皆様と楽しく懇談させていただきました。梶屋先輩からの日本食品の「あらびき大将」の参加賞は楽しみの一つです。次回もぜひ参加させていただきたいと思います。

懐かしの母校訪問の旅

旅行会世話人：谷川和子(38回生)

平成20年10月25日(土)福岡支部の旅行会として母校訪問の旅に出掛けました。少子化による生徒数の減少から中津工業高校と合併することになり中津商業高校としては、平成23年3月に母校の廃校が決まりました。校舎はそのまま宇佐の養護学校が移転し利用されるそうです。当日はお天気にも恵まれ17名の参加でしたが、休日にもかかわらず、母校事務長様のご案内で在学中の思い出を捜し求めて廻りました。古き時代のものはすでになく、部活の生徒の若々しい声に、自分もあんな時代があったなあと思いました。本部松会長様はじめ役員方々のご参加もいただき、また在校生支援の「中商物語」や合林元校長先生、守口元先生からのお酒の差し入れもいただき、懇親会を盛り上げていただきありがとうございます。帰路は三光コスモ

ス園や懐かしの青の洞門、山国町の案山子ワールドでは昔の農作業の様子案山子など、とても楽しかったです。参加していた方々に助けていただき良い思い出の旅となったことに感謝いたします。



バレー部との交流



青の洞門



山国のかかしワールド



協賛広告ありがとうございます

箭山会福岡支部ゴルフ会

顧問 久恒喜成(28回生)
福岡百道浜 電話：092-831-2989

祝！ベストフレンズ8号発刊

顧問監査 吉井陽二(37回生)
福岡平尾 電話：092-531-2024

郷土の人物伝：廣池千九郎博士

梶屋 孝太郎 (33回生)



モラロジー創業者・生涯教育の先駆者

私は中津市に生まれながら今日まで廣池博士の存在を全く知らなかった。私が勤務している日本食品株が数年前食肉偽装事件を起こし、結果民事再生法適用会社になりました。早速取引先大手商社等からコンプライアンスについて厳しく指摘されました。このことを反省する意味で道徳、倫理の勉強を始めることになった。勉強が進むにつれて廣池千九郎博士の偉大さが分かってきました。一万円札の福沢諭吉先生は有名ですが、廣池博士についてはあまり知られていないようです。4年前に会社としてモラロジーに入会毎月勉強会をして行く中で、あるとき、中津市の永添にある廣池博士の生家で行われた生誕祭に出席をきっかけに、今では役員は勿論、部課長含め22名が会員登録、本格的に取り組んでいます。千葉県柏市にありますモラロジーの研究所の基礎講座も受講し、今では会社の中の大きな核となっています。

で生まれました。今日の中学校課程に当たる中津市校を終えると14歳で母校の永添小学校の助教（助教諭に当る）となり、その後、苦学の末19歳で教師（訓導）の資格を得て、下毛郡形田小学校教師となります。明治19年（1886年）

下毛郡植田村に貧しい子供のための夜間学校を設立、明21年（1888年）道徳（修身科）の教科書『新編小学修身用書』を編集、明治24年（1891年）には「大分県共立教育会」の中に日本最初の教員互助会を設立するなど、地域の教育改善に取り組みました。その後教育者としての廣池千九郎は、早稲田大学講師、伊勢の神宮皇学館教授を経て、現在の麗澤大学の基となる道徳科学専攻塾を開き、塾長として、多くの人材を世に輩出しました。



「～すべてはここから始まった～」 「全国青年大会in九州」

平成19年2月10日(土)・11日(日)、「全国青年大会in九州」が全国から820名の青年が集い、廣池千九郎生誕の地の大分県中津市で開催されました。

初日は、市内のマリエールオークパインで開会式後、占部賢志・福岡県立太宰府高等学校教諭による「『螢の光』と父祖の歴史」と題しての記念講演を行いました。占部講師は冒頭、「国の歴史の後にはいくつもの小さなプロジェクトが存在し、その実現には志ある人々の出会いがあった」と述べ、西南戦争で敗色濃厚な西郷軍に従事した地元中津出身の増田宋太郎（1849-1877／福沢諭吉のまたいとこで中津隊の隊長）と廣池千九郎との精神的な出会いをはじめ、いくつかの歴史的な出会いを紹介。感動に満ちた話に目頭を押さえる参加者の姿が見られました。その後、別室に会場を移して大交流会を開催。久しぶりの再会を喜ぶ青年たちや、家族連れで懇談する姿が見られました。

翌日は、廣池千九郎の事跡を訪ねるバスツアー＆ウォークラリーが行なわれ、廣池が赴任した形田小学校跡や転勤の際に村人たちと送別の宴を開いた仏坂などを見学。最後に廣池千九郎の生家が保存されている廣池千九郎中津記念館に集い、地元のモラロジー女性クラブお手製の豚汁や唐揚げを味わった後、閉会式を行い散会しました。

では教育者としての廣池博士について、そしてモラロジーとは、の紹介をさせていただきます。

教育者 廣池千九郎は慶応2年（1866年）3月29日に大分県中津市



廣池 千九郎
ひろいけ ちくろう
1866(慶応2)年～
1938(昭和13)年



モラロジー活動の今、千九郎の意志は、二つの団体に受け継がれています。ひとつは麗澤大学を擁する、学校法人廣池学園です。モラロジーに基づく「知徳一体」の教育が展開されています。もうひとつは、全国に数万人の維持会員を持つ、社会教育団体 財団法人モラロジー研究所です。千九郎の魂は、今も大勢の人々とともに生き、社会に根を下ろした活動として展開されています。

Moralogy

モラロジー（道徳科学）とは、廣池千九郎（1866～1938、法学博士）が創立した、道徳を科学的に研究する新しい学問です。

モラロジーは、道徳の視点から、自然と社会と人間のすべての領域を考察し、個人の幸福と社会の平和の実現に有効な指針を提示しようとする総合人間学です。

● モラロジーを構成する六つの領域

- 1、自我の没却（新しい自己の発見）
- 2、慈悲の心（自然のはたらきになかった生き方）
- 3、道徳的な義務（支えあう喜び）
- 4、感謝報恩の心（生存の根源につながる）
- 5、人を育てる心（共感的世界を開く）
- 6、道徳実行の効果（心づかいと人生とのかかわり）

協賛広告ありがとうございます

日本食品株 あらびき大将
副社長 梶屋 孝太郎 (33回生)
古賀市青柳 電話：092-942-6100

(有)江副商店 畳・襖・障子張替
ごろ寝サポート 江副 節子 (41回生)
福岡原 電話：092-871-5253

53年目の修学旅行 -大宰府天神様へ- 堀 幾磨 (37回生)



平成20年9月25日(木)・26日(金)中津東高を昭和30年卒37回生の同期会を大宰府で開きました。

卒業後53年目に当り、七回目の子年72歳を迎えます。今回集まった面々は福島県、東京、京都、九州各地からの集いでした。入学当時は、まだまだ戦後の辛苦の中での勉学でした。それだけに青春時代の勉学のこと、仲間のこと、先生のこと、互いの郷里のこと等と話題は尽きず夜更かしです。同期が集えば多感な18歳の青春時代に返ります。主な日程とは次のとおりでした。

開催日時：平成20年9月25～26日

場所：福岡県大宰府市・ホテル グランティア大宰府

観光：①大宰府天満宮 ②国立博物館(国宝天神さま特別展) ③観世音寺④ふるさと館(櫛田神社)等→博多駅解散

参加人数：男性 28名、女性 15名 合計43名

【世話人雑記】

1. 「福岡在住8名が世話人に」

古希の会から二年目の1月全員集合し、秋9月に向けて4回、卒業以



中津東高37回生同期会 於 大宰府天満宮 平成20年9月26日

来始めての会合で遠慮ない発想、意見語り合いが愉しかった。

2. 「箭山会名簿出版業者の支援」
卒業生208名、物故者30名、案内郵送先不明者を除いた150名へご案内。小野印刷名簿事業部へ案内状の印刷物、宛名シールを依頼、同時に各地域の同期から情報収集を受け、最終43名参加となりました。

3. 「そろばん勘定でハブニング」
大宰府天満宮、歴史博物館に近い旧国民宿舎「みかさの湯」が民間業者「ホテルグランティア大宰府」に経営譲渡され、早速利用する。博多駅までのシャトルバス送迎を当て込んでいたが出迎えのみ、西鉄観光バス貸切で予算9万円の出費。又同期会の25日は「天神様の縁日」に当たることから長寿祈願等は翌日にずれ込み、博多観光も半バスに変更、参加料も大幅にアップ。世話人会では「商業出身者なのに、予算ショートは様にならん」と激も入り苦戦でした。

4. 「天神様長寿祈願」
72歳を越えれば足腰弱く病との付き合いも心得ている年代ですが、世話人会の気懸かりは宴会の盛り上がりや二次会での気炎、カラオケでの発散による事故のないことでした。翌日は天満宮参拝、さらなる長寿を祈願し晴れやかに皆さんを送り出したことが何よりの喜びです。次回は2年後、大坂での再会を約して散会です。喜び且つ労わりも同窓のよしみ。戦後十年の辛酸をなめて卒業、53年目の大宰府への修学旅行は、「幾つになっても年若い同窓会」の語らいに元気を貰いました。皆さん又の出会いを愉しみにしています。

43回生同期会65歳の春

大瀬 雅子 (43回生)



2008年3月15日(土)商業43回生65歳の同窓会がグランドプラザ中津に於いて開かれました。恩師川原義直先生のご出席をいただき、全国から48名のご参加でした。皆さん同じ年ですが随分と歳の差を感じますね。昭和36年卒は高度成長の始まりの年、活躍もされたでしょうがご苦労も多かったことでしょう。これからは健康にくれぐれもご留意され、楽しい余生をお祈りします。

箭山会北九州支部の総会キャッチフレーズに「もう一度18歳の花を咲かそう」とありましたが、高校の同窓会は常に卒業の18歳、65歳になっても18歳の春のままです。フィナーレは舟木一夫の「青春時代」、何歳になっても懐かしい思い出です。



協賛広告ありがとうございます

箭山会 福岡支部釣クラブ

監査 井上 慎一 (37回生)

福岡周船寺 電話：092-807-6347

日立キャピタルオートリース(株)

九州支店長 中野 久米夫 (52回生)

福岡店屋町 電話：092-281-6920

マレーシア便り その4 「マレーシアの新年」

ロング スティーヤー 柴田 裕子 (43回生)

皆様、あけましておめでとうございます。よい新年をお迎えになりましたでしょうか。私たちも31日の夜はNHKの紅白歌合戦を見て日本の現状を垣間見、その後年越しそばを作って食べました。

1月1日の午前0時になるとあちこちで一斉に花火の打ち上げが始まりました。わが家の300度見晴らせる窓から見ているとクアラルンプール(KL)市内とその周辺の数十箇所では花火が上がるのはまさに壮観でした。特にKL中心部3箇所での花火は大きさも高さも種類も数多く、ツインタワーやKLタワーを包み込むように花火がはじけるのは圧巻でした。

マレーシアでは1月1日だけが祝日でお休み。日本のお正月に相当するお休みはそれぞれの民族ごとに分かれています。人口の56%を占めるマレー系モスリム(イスラム教徒)の人達は断食明けのハリラヤプ



2008年10月の「ディーバラヤ」

マレー系もインド系も中国系もヨーロッパ人も日本人も皆で祝う

記載の記事は箭山会福岡支部のホームページの掲示板からの引用です。

アサを盛大に祝います。時期はイスラム暦の10番目の月(新月)の2日間なので毎年変わっていきます。この時期多くの家庭ではカーテンや家具の布地を取替え、新しい服を新調します。また、オープンハウスをして親戚、友人、知人を招いてご馳走します。



25%の中国系の人達は宗教に関係なく中国正月、すなわち陰暦のお正月を祝います。この日も毎年変わります。大晦日は家族が集まる大事な日でこの日にあわせて皆帰郷しているようです。3日目か4日目にはイサンと呼ばれる特別な料理を食べます。お刺身と細く刻んだ野菜をドレッシングをかけていただくのですが、大皿に盛りつけた料理をみんなで取り囲み箸で高く持ち上げて混ぜます。高く持ち上げるほど新年の繁栄がかなうといひます。また、年配者は沢山のアンパオ(お年玉)を用意します。独身者はいくつであってもアンパオをもらえるのだそうです。

8%のインド系の人達のうちヒन्दゥー教徒はディーパバリを祝います。この日も占星学によって決まります。人々は新しく服を新調し寺院に行き祈ります。

中国系に多いクリスチャンの人達はクリスマスを盛大に祝います。このように人種、宗教によってそれぞれ違うのですが、お互いに祝福しあうところがマレーシアのすばらしいところだと思います。ハリラヤとディーパバリが近い日であればディーバラヤといって一緒に祝い合います。世界各地の人種や宗教による紛争を見るたびマレーシアの人々のようであってほしいのに、とつくづく思います。

インドネシアへ植林の旅 第2弾 矢頭 眞一 (44回生)

平成18年夏にインドネシアへ植林の旅をしてから、2年後の平成20年6月に再度インドネシアへ植林の旅へ……、古女房《監視役?》を連れ立って参加しました。今回は地球環境改善(温暖化対策を目的としたCO2削減)ためマングローブを植林する企業《株式会社ワイエルインベスト》が企画したツアーで総勢60名(内、10名現地集合)の参加です。6月8日(日)午前10時過ぎ福岡国際空港発、5時間チョット飛行機に揺られ午後3時過ぎにシンガポール到着。初めてのシンガポール空港の入国手続きは銃を持った警備兵が要所要所にいるのにはビックリしました。シンガポールから、高速船で約1時間インドネシアのバタム島へ到着。夕食会でのセレモニーではインドネシア政府の役人・バタム島の役人さん数人、そして日本から政府関係者4名が参加され、海辺のレストランで盛大に催されました。



翌日、9日は日本の団体「ライオンズの森プロジェクト」が植林した後のマングローブの生育状況を見て廻りました。そして、近くの村の小学校に寄り、日本から持



参した文房具やシャツ・洗濯済の古着などを差し上げて、現地の人達に喜ばれました。特に「子供さん達の笑顔」が今も忘れられない…印象に残っております。次の10日はいよいよツアーの目的であるマングローブ植林作業に向かいました。気温が高い炎天下・地下足袋を履き泥まみれになり頑張りました。翌11日は帰路へ……、シンガポールに向かい、フライトまで市内観光・(セントーサ島の水族館やマーライオンなど見学・ショッピングなど)で夜のフライトまでの時間を費やし飛行機に搭乗……、翌12日午前8時に福岡国際空港へ到着・解散。……インドネシアについて、2年前はバリ島などの真ん中辺に行きましたが、今回はシンガポールに近い島での植林でした。島の数が多くしかも広い領土を有する国だと改めて感心しました。

尚、本件についての詳しい内容はインターネットで「ワイエルインベスト」で検索して頂ければ幸いです

協賛広告ありがとうございます

株やず企画 不動産取引・管理
代表取締役 矢頭 眞一 (44回生)
福岡天神 電話:092-741-2121

飲むならタクシー、飲んだらタクシー
個人タクシー 三好 一正 (55回生)
福岡長住 電話:090-8761-9322

玄界灘の釣(シロギス)

井上 慎一 (37回生)



平成20年の釣は、やり鳥賊だけはまあまあでしたが、鯿やキス等はどちらかと言うと不漁の年となりました。特に鯿は唐揚げ用クラス以外は1~2尾と言うこともあり、大漁だった19年とは大違いでした。これは例年になく海水温が高く不安定で、例年なら鯿が釣れるべき場所と時期が非常に掴み難かったことも原因の一つです。その点、キスは鯿よりは多少ましな方で7月の釣では我々のエリアでは記録になるかも知れない貴重な1尾を熊笹御堂さんが釣り上げました。普段お世話になっている「やまと丸」は船主の藤沢さん、ベテランの松井さん(年

間250日以上釣をされている) 箭山会から熊さん、井上の4人が常連のメンバーです。当日の釣の成果はキスの小型を入れて一人当たり20尾位でしたが、

熊さんに1尾だけ大型が釣れ、藤沢さんが念のため計測したところ30.5cm、いわゆる肘たたきはありました。

松井さん話では恐らく今年の西方海上の記録だろうとのことでした。

はがき絵による日本一周秋の旅 梶田 義富 (44回生)

縁あって日本一最少人数7名による10日間の「日本一周秋の旅」に出掛けました。この1~2年は孫(二人)が生まれたり、シルバー手帳をもらったり、メタボを気にしたり、夫婦二人の旅行は久しぶり。訪ねた先は、はがき絵に一句を添えて紹介します。中でも9日目は人生最高地2,450mの立山を望む室堂平に揃って立ち、御厩池に映る立山の織り成す錦の裾模様にしばし目を奪われる絶景でした。



10/9(火) 黒四も立山も錦着飾りて
憧れの黒部立山アルペンルート
室堂平にて

10/1
(月)
姫路



いわし雲 絵描き汗かき 姫路

10/2
(火)
天橋立
⇒



秋風や 二度も天橋立 股のぞき

10/3
(水)
舞鶴
↓ 船旅
小樽



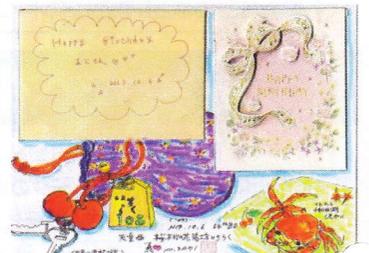
奥尻島 吸い込みそうな 秋の空

10/4
(木)
ニセコ
⇒



お土産に キタカツネ出し 秋ニセコ

10/6
(金)
天童
⇒



誕生日 めごいや林檎 口ずさみ

10/7
(日)
立石寺



取り入れの
穂弥陀の傍に
座す地藏

10/8
(月)
上高地
⇒



秋雨や 一驚旅も 潤いし

10/10
(水)
東尋坊
⇒



臍曲がり 秋も遅々とし 東尋坊



■新役員紹介

大瀬 雅子 (43回生・昭和36年卒)
出身地: 中津市
住 所: 春日市日の出町
趣 味: 水泳 (インストラクター)

編集後記

城戸崎 重夫 (47回生)

ベストフレンズNo8号をお届けします。

今回は特に製作費の削減を図るため梶屋先輩の斡旋や役員各位の賛助広告、会員の寄稿をいただき厚くお礼申し上げます。福岡支部の活動情報誌として、会員相互のコミュニケーションの提供に大きな役割を果たしています。ベストフレンズが箭山会の情報発信元となり、更に内容を充実させ、会員の皆様に数多くご拝読頂けるよう、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

経営のパートナー 税務・経理支援
代表 城戸崎 重夫 (47回生)
福岡東区 電話: 090-4581-7676

紙誌製作 (ベストフレンズ編集担当)
代表 近藤 孝雄 090-7389-0815
古賀市今の庄 kondou.fk@angel.ocn.ne.jp